

伊勢志摩サミット三重県民会議第6回役員会

事項書

日時：平成29年3月1日（水）

14:00～14:45

場所：ホテルグリーンパーク津 葵・橘の間

1 開会

2 報告事項

(1) 三重県の平成29年度ポストサミットの取組と体制について

(取組について)

【資料1】

(体制について)

伊勢志摩サミット推進局は3月末をもって廃止します。

ポストサミットの取組を全庁的に推進するとともに、「伊勢志摩サミット三重県民宣言」の周知を図るため、雇用経済部に「次長（ポストサミット・国際戦略担当）」を設置します。また、そのスタッフとして国際戦略課に職員3名を配置します。

(2) 伊勢志摩サミット三重県民会議平成28年度事業報告【資料2】

3 審議事項

(1) 伊勢志摩サミット三重県民会議平成29年度事業計画（案）について【資料3】

(2) 伊勢志摩サミット三重県民会議収支予算（案）について【資料4】

4 閉会

配付資料

【資料1】平成29年度ポストサミットの取組について

【資料2】伊勢志摩サミット三重県民会議平成28年度事業報告

【資料3】伊勢志摩サミット三重県民会議平成29年度事業計画（案）について

【資料4】伊勢志摩サミット三重県民会議収支予算（案）について

資料1

平成29年度ポストサミットの概要

サミットの開催を一過性にせず、サミット開催による知名度等の向上や会議自体の成果、地域の総合力の向上といったサミットの「レガシー」を三重の未来に生かすため、具体的な取組を展開していきます。

①人と事業を呼びこむ

【MICE誘致】

- ◎◇海外MICE誘致促進事業
- ◎◇自然公園ナショナルパーク化促進事業
- ◎三重まるごと自然体験促進事業
- ◎◇海外誘客推進プロジェクト事業

【新たな国内交流人口の拡大】

- ◎◇宣長サミット開催事業
みえ観光の産業化推進委員会負担金(一部)
- ◎農林水産物の東京オリ・パラに向けた総合推進事業
- ◎東京オリ・パラ対応オーストリア市場獲得推進事業
- ◎◇「みえの食」グローバル市場獲得推進事業
- ◎地域の魅力発信・販路拡大支援事業

【食の産業振興】

【国際戦略】

外資系企業誘致推進事業

【移住・定住の促進】

◎移住促進情報発信拠点運営事業

選ばれる南部地域を指して推進事業

【インフラ整備】

◎高規格幹線道路及び直轄国道の整備促進



【MICE誘致】

- ◎◇海外MICE誘致促進事業
- ◎◇自然公園ナショナルパーク化促進事業
- ◎三重まるごと自然体験促進事業
- ◎◇海外誘客推進プロジェクト事業

【新たな国内交流人口の拡大】

- ◎◇宣長サミット開催事業
みえ観光の産業化推進委員会負担金(一部)
- ◎農林水産物の東京オリ・パラに向けた総合推進事業
- ◎東京オリ・パラ対応オーストリア市場獲得推進事業
- ◎◇「みえの食」グローバル市場獲得推進事業
- ◎地域の魅力発信・販路拡大支援事業

【食の産業振興】

【国際戦略】

外資系企業誘致推進事業

【移住・定住の促進】

◎移住促進情報発信拠点運営事業

選ばれる南部地域を指して推進事業

【インフラ整備】

◎高規格幹線道路及び直轄国道の整備促進

②成果を発展させる

【安全・安心】

◎新たな防災・減災対策推進事業(一部)

◎テロ等対策(テロ対策パートナーシップ)

【サミットの聖地】

◎◇未来につなぐ平和発信事業

◇みえ国際ウイーク推進事業

◎認知症ケア医療介護連携事業

◎みえライフイノベーション総合特区促進プロジェクト事業(一部)

【女性等の活躍】

◎みえの女性活躍推進事業



③次世代に継承する

【次世代育成】

◇大学生版サミット開催事業

◇情報や学習機会の提供事業(一部)

◎◇世界へはばたく高校生育成支援事業



具体的な取組(主な事業)

サミットの
レガシー

- ・地域の総合力の向上
- ・会議自体の成果
- ・知名度等の向上

持続的に発展する三重の未来へ

④戦略的・効果的な情報発信

【戦略的プロモーション】 ◎広聴広報アクションプラン推進事業

(注)事業名に◎印を付したものは重点取組事業、◇印を付したものは伊勢志摩サミット基金が充当される事業です。

平成29年度ポストサミット事業一覧

①人と事業を呼びこむ

細事業名	事業概要	事業費 (千円)	重点・一般 の別	担当部局
【MICE誘致】				
海外MICE誘致促進事業費	安定的に開催地域への大きな経済波及効果を生み出す国際会議等MICEの開催を促進するため、営業委託によりセールス体制を強化するとともに、誘致促進のための補助金などのツールを生かした誘致に取り組むことで、本県インバウンドの新たな市場として確立します。	21,193	重点	雇用経済部 観光局
【インバウンド】				
世界遺産・地域資源を活用した東紀州観光地域づくり支援事業費	東紀州地域の市町等と連携して外国人誘客に向けた旅行商品の造成、地域特産品の海外への販路開拓、観光人材の育成等に取り組めます。	2,854	重点	地域連携部 南部地域活性化局
熊野古道活用促進事業費(一部)	伊勢志摩サミット開催を契機として外国人旅行者の誘客を図るため、世界遺産熊野古道を核とした地域資源の魅力について、外国人目線での情報発信等に取り組めます。	6,330	重点	地域連携部 南部地域活性化局
自然公園ナショナルパーク化促進事業費	世界水準のナショナルパークをめざす伊勢志摩国立公園において、美しい自然景観等の魅力を国内外から訪れる利用者に十分体験・体感していただけるよう、国立公園内のビューポイントの整備や自然景観の保全、エコツーリズムの推進、地域資源の保全と活用を担う人材育成等に取り組めます。	149,130	重点	農林水産部
三重まるごと自然体験促進事業費	三重を自然体験の聖地としていくため、自然体験活動団体や民間企業、市町で構成する「自然体験ネットワーク」の連携をさらに強化し、自然を生かした新たな体験プログラムの開発、受入地域などで活動する人材の育成、周遊ルートの態勢整備、魅力的なイベントの開催、企業と連携した三重の自然の魅力発信などに取り組めます。	22,000	重点	農林水産部
海外誘客推進プロジェクト事業費	伊勢志摩サミットの開催により本県の知名度が飛躍的に向上した機会を生かし、レップ(県に代わって現地で営業活動を行う代理人)の活用や博覧会出展、近隣府県との連携などにより、重点国・地域に加え、アジア及び欧米の富裕層やゴルフ客の誘致を図ります。また、増加する個人の外国人旅行者(FIT)に対応したSNS等による情報発信や台湾からの教育旅行の誘致に取り組めます。	57,425	重点	雇用経済部 観光局
【新たな国内交流人口の拡大】				
宣長サミット開催事業費	伊勢志摩サミット誘致の際にもPRLした三重が世界に誇る偉人、本居宣長をテーマとした宣長サミット(仮称)を、ポストサミット等の一環として開催することで、県民がふるさとみえの文化を再認識し、県内外との交流を活性化させる機会とします。	3,939	重点	環境生活部
熊野古道活用促進事業費(一部)	熊野古道世界遺産登録15周年を見据え、熊野古道伊勢路の魅力発信や踏破に向けた仕組みづくり、周辺地域の周遊性・滞在性の向上等に取り組めます。	15,694	一般	地域連携部 南部地域活性化局
ふるさと納税南部まるごと発信事業費	複数市町が連携して行う、ふるさと納税を活用した産業振興や誘客促進等を図る取組について、南部地域活性化基金等を活用して支援します。	4,000	一般	地域連携部 南部地域活性化局
南部をめぐるバイク旅促進事業費	複数市町が連携して行う、ライダーを対象として地域資源を生かした魅力発信等を行うことで、地域を活性化する取組について、南部地域活性化基金等を活用して支援します。	5,000	一般	地域連携部 南部地域活性化局
全国菓子大博覧会・三重開催支援事業費	「第27回全国菓子大博覧会・三重(お伊勢さん菓子博2017)」の開催に向け、関係市等と連携し、実行委員会の取組を支援します。	52,349	一般	雇用経済部
みえ観光の産業化推進委員会負担金(一部)	伊勢志摩サミット開催によりもたらされたチャンスを生かし、大都市圏の旅行会社やメディアのニーズと、県内観光関連事業者のシーズをマッチングするための商談会等を開催し、地域の魅力を生かした旅行商品の造成やウェブ・雑誌での発信をめざします。また、ジュニアサミット開催を機に、北勢地域の市町、関連事業者等が一体となり、専門高校・大学の修学旅行や企業の研修旅行を受け入れるための新たな仕組みづくりに取り組めます。	9,700	一般	雇用経済部 観光局

細事業名	事業概要	事業費 (千円)	重点・一般 の別	担当部局
【食の産業振興】				
東紀州地域産業活性化 事業費	東紀州地域の多様な主体が連携して取り組む新商品開発、販路開拓 (バイヤーの招へい、商品データベースの活用)、地域の産業人材の育 成等に対して支援を行います。	6,384	重点	地域連携部 南部地域活 性化局
農林水産物の東京オリ パラに向けた総合推進事 業費	東京オリンピック・パラリンピックの需要に向けて、県産農林水産物の活 用の拡大を図るため、専門部会を設置した協議会等の立ち上げや、食 品メーカー等への加工食材の活用提案等に取り組みます。	1,758	重点	農林水産部
東京オリ・パラ対応オーガ ニック認証及びGAP高度 化推進事業費	県産農産物が東京オリンピック・パラリンピックの食材調達基準に適合す るとともに、国際的な取引に対応できるよう、GAPの高度化やオーガニッ ク認証の取得を進めます。	2,654	重点	農林水産部
東京オリ・パラに向けたア スリートへの野菜安定供 給事業費	東京オリンピック・パラリンピックの食材調達基準に対応する加工・業務 用野菜産地の育成や、アスリートの健康増進に寄与する野菜の生産体 制の構築等に取り組みます。	3,257	重点	農林水産部
東京オリ・パラへの畜産 物供給体制構築事業費	東京オリンピック・パラリンピックを契機としたさまざまな需要に対して、松 阪牛・伊賀牛・熊野地鶏等の県産畜産物を提供していくための生産供給 体制等の構築を進めるとともに、より一層のブランド力の向上等を図りま す。	21,440	重点	農林水産部
東京オリ・パラを契機とし た県産材の販売力強化促 進事業費	東京オリンピック・パラリンピックの会場施設等において、県産のFSC認 証材が使用されるよう、企業との連携による新たな木製品の開発や首都 圏でのプロモーション等に取り組みます。	4,564	重点	農林水産部
東京オリ・パラに向けたみ えの水産物販売力強化事 業費	東京オリンピック・パラリンピックの食材調達基準に適合した水産物の供 給をめざし、持続可能性を確保した漁業の認証取得に向けた支援を行う とともに、食材調達基準を満たす県産水産物等の販売力強化等に取り 組みます。	8,674	重点	農林水産部
県産園芸品目海外販路 拡大事業費	伊勢志摩サミットを契機に高まる国内外からの注目を好機と捉え、海外 における本県園芸品目の定番化を図るため、米国等において県産園芸 品目のプロモーション等を行います。	4,800	重点	農林水産部
三重の畜産物海外展開 サポート事業費	アジア経済圏をターゲットとして、県産畜産物の商談機会の提供や商談 成立に向けた支援を行うほか、県産ブランド牛肉の米国市場定着に向け たフォローアップに取り組みます。	3,600	重点、 一般	農林水産部
魅力あるみえの水産物輸 出力強化事業費	県産水産物の販路拡大を図るため、アジア経済圏での商談会開催や事 業者の販売促進活動の支援を通じ、海外での評価を高め恒常的な輸出 につなげます。	2,645	重点	農林水産部
海女漁業の魅力発信事 業費	鳥羽・志摩地域への集客・交流を図り、海女の収入向上につなげるた め、海女漁獲物の料理教室や首都圏等でのイベントを通じ、海女漁業の 魅力などを情報発信します。	1,326	重点	農林水産部
東京オリ・パラに向けた三 重の農産物販売力強化 促進事業費	東京オリンピック・パラリンピックにおける多様な需要に対して、米・茶・花 き花木などの県産農産物を供給するため、高級ホテルやレストラン等へ のプロモーションに取り組みます。	5,991	重点	農林水産部
みえの農林水産物の魅力 総合発信事業費	伊勢志摩サミットのレガシーを生かし、県産農林水産物の価値向上を図 るため、ブランド力のある品目を中心に三重の食の魅力が首都圏等に おいて発信します。	6,732	一般	農林水産部
「みえの食」グローバル市 場獲得推進事業費	三重県の食材や食文化に対する国内外からの注目や関心の高まり、イン バウンド需要の拡大を踏まえ、「みえの食」のブランドイメージの向上と グローバルな市場の獲得を進めるため、食に関する多様な連携を推進 し、新商品や付加価値の高いサービスの創出などに取り組みます。	33,167	重点	雇用経済部
「みえの食」振興基盤づく り推進事業費	県内食関連産業が求めている人材像の把握や教育機関の取組状況を 調査するとともに、「みえの食」による産業振興の基盤ともいえる「食の人 材」の育成について検討します。	1,982	重点	雇用経済部

細事業名	事業概要	事業費 (千円)	重点・一般 の別	担当部局
【国際戦略】				
地域の魅力発信・販路拡大支援事業費	インバウンドをはじめとする観光客の増加や県産品の販路拡大を図るため、サミットを契機として関係を強化したベトナムなどにおいて、効果的な情報発信とあわせて現地バイヤー等との商談会を実施します。また、サミットにより新たに関係を構築した小売事業者との連携による戦略的な営業活動を進めます。	14,406	重点	雇用経済部
外資系企業誘致促進事業費	外資系企業による県内への投資を呼び込むため、国・JETRO及びGNI協議会との連携や海外ミッション等で構築したネットワークの活用、外資系企業ワンストップサービス窓口の機能強化などによる誘致活動に取り組みます。	11,173	一般	雇用経済部
グローバル経営人材育成ネットワーク支援事業費	県内中小企業の競争力の底上げや強化を図るため、若手経営者を主たる対象に、高等教育機関や支援機関等と連携して、グローバル経営に必要な実践的応用力の鍛錬やディスカッションなどを実施することで、新規事業や連携の創出、経営者同士の人的ネットワーク構築等を促進します。	2,000	一般	雇用経済部
【移住・定住の促進】				
移住促進情報発信拠点運営事業費	首都圏・関西圏・中京圏での相談体制の充実を図り、きめ細かな相談を行うとともに、伊勢志摩サミットによる知名度の向上を生かして、大都市圏におけるプロモーションを行うことにより、三重県への移住を促進します。	35,000	重点	地域連携部
移住促進に向けた情報発信事業費	移住・交流ポータルサイト「ええとこやんか三重」やメールマガジン「三重暮らしのススメ」等を活用し、県内の移住に関する情報を一元的に発信することにより、移住を促進します。	1,548	一般	地域連携部
移住促進のための市町支援事業費	県内各地域が、それぞれの強みを生かした多様な「三重暮らし」(ライフスタイル)を移住希望者に提案できるよう、県・市町が相互に情報共有しながら連携・協力するネットワークの場を設けます。また、そうした場で専門家・オブザーバー等からの助言を受けながら、受入体制強化に向けた先進事例の研究や「まち」の魅力を探る「まち歩き」などに取り組めるよう支援します。	400	一般	地域連携部
選ばれる南部地域を目指して推進事業費	南部地域での生き生きとした暮らし等を情報発信するとともに、地域おこし協力隊等を対象に、活動内容に合わせたアドバイスや研修を行います。また、地域への関心を高めるための交流会を開催する等、定住に向けた市町の取組について、南部地域活性化基金等を活用して支援します。	12,713	一般	地域連携部 南部地域活性化局
U・イターン就職支援事業費	三重県へのU・イターン就職を促進するため、就職支援協定を締結した大学等と連携して、就職相談やU・イターン就職セミナーを開催するとともに、県内企業でのインターンシップを推進します。	9,412	一般	雇用経済部
”ひとをよびこむ”三重子どもしごと体験事業費	県内外から多くの人を呼び込むとともに、本県の魅力を発見するきっかけをつくることで、定住人口の増加につなげるため、子どもが三重の特色あるしごとの体験を通じて、その面白さや楽しさを実感することができる魅力的なイベントを開催します。	11,064	一般	雇用経済部
【インフラ整備】				
地域情報化推進事業費(一部)	携帯電話の不通話地域を解消するため、基地局の整備を促進することにより、地域間の情報通信格差の是正を図り、安心かつ快適に情報通信サービスが利用できる環境整備に取り組みます。	1,070	一般	地域連携部
直轄道路事業負担金	国が行う高規格幹線道路や直轄国道の整備に対して、事業費の一定割合を負担します。	10,483,000	重点	県土整備部
高規格幹線道路建設促進費	高規格幹線道路の建設に伴う用地交渉等を行うことによって、事業の整備促進を図ります。	27,262	重点	県土整備部
高速道路関連施設整備対策事業費	高速道路に関連して新たな整備が必要な砂防施設等の整備を、高速道路の供用に合わせ一体的に実施し、円滑な高速道路事業の整備促進を図ります。	217,000	重点	県土整備部

②成果を発展させる

細事業名	事業概要	事業費 (千円)	重点・一般 の別	担当部局
【安全・安心】				
新たな防災・減災対策推進事業費(一部)	伊勢志摩サミットの開催を契機に地震・津波対策として導入した「DONTを活用した津波予測・伝達システム」の南部地域7市町への展開を図ります。	3,322	重点	防災対策部
安全安心まちづくり事業費(一部)	「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム」を具現化する取組として、ソフトとハードの二つの面から地域の防犯力の向上を支援するためのモデル事業を行います。	2,400	重点	環境生活部
テロ等対策費(一部)	テロの脅威が依然として厳しい中、伊勢志摩サミットを契機に設立した官民が一体となってテロ対策を推進する「テロ対策パートナーシップ」を持続的に発展させ、テロが起こらないまちづくりを実現します。	3,649	重点	警察本部
【サミットの聖地】				
未来につなぐ平和発信事業費	伊勢志摩サミットにおいて各国首脳から「平和のメッセージ」が発信されたことを契機として、三重から平和について発信していくとともに、未来を担う若い世代に、被爆地の若者との交流などを通じて、平和の尊さや大切さを考え平和への想いを一層深めてもらう機会として「平和のつどい(仮称)」を開催します。	1,478	重点	戦略企画部
みえの農林水産「八百万サミット」開催事業費	伊勢志摩サミットを通じて注目が高まった県産農林水産物や自然の魅力を発信していくため、各種の「サミット」を、県内で開催します。(アマモサミット、学校の森・子どもサミット)	581	一般	農林水産部
みえ国際ウィーク推進事業費	サミット開催による県民の貴重な経験を生かし、グローバルな人材育成等を図るため、「みえ国際ウィーク」を設け、県民・企業・団体・市町等と連携して、県民が継続的に世界に目を向ける機会とします。	3,806	一般	雇用経済部
【保健】				
認知症ケア医療介護連携事業費	認知症の早期発見・早期治療につなげるため、より身近な地域で専門的な医療を受けることができるよう、連携型認知症疾患医療センターを新たに指定します。また、医療と介護の連携強化等のため、認知症連携パスの普及・定着およびバージョンアップを図るとともに、市町に設置する認知症初期集中支援チームの活動をサポートします。	44,098	重点、 一般	健康福祉部
みえライフイノベーション総合特区促進プロジェクト事業費(一部)	認知症ケアを見据えた製品・サービスの創出のため、認知症の人やその家族、医療・介護関係者、企業等が意見交換できる仕組みを構築し、介護する側に加えて認知症の人自身にも目を向けた生活支援機器等の開発を支援するとともに、製品等の改良・開発につなげるためのニーズ収集や販路開拓等の支援を行います。	9,436	重点	健康福祉部
認知症地域生活安心サポート事業費	認知症の人と家族への地域での支援体制の構築に向けて、認知症サポーターのステップアップのための研修体制を整備するとともに、認知症コールセンターの利便性の向上を図ります。また、若年性認知症支援コーディネーターを配置し、認知症の人と家族からの相談に応じるとともに、若年性認知症の人の就労支援のため民間企業を対象とした研修を実施します。さらに、高齢者虐待を防止するため、引き続き高齢者の権利擁護のための研修を実施します。	9,495	一般	健康福祉部
【女性等の活躍】				
みえの女性活躍推進事業費	伊勢志摩サミットを受けて開催した「Women in Innovation Summit2016(WIT2016)」の開催成果を広く展開し根づかせるとともに、女性活躍のすそ野を広げるため、県内における女性活躍のロールモデル創出に取り組めます。	9,444	重点	環境生活部
農福連携による次世代型農業モデル構築事業費	農業分野における障がい者の就労の場の拡大に向けて、農福連携によって生産される農産物・農産加工品の付加価値向上、福祉事務所による農作業請負を核に産地全体を支援する次世代型農業モデルの創出に取り組めます。	6,407	重点	農林水産部
働き方改革総合推進事業費	労働環境を整備する機運の醸成を図るため、働き方改革に取り組む企業等の課題に応じて「働き方改革アドバイザー」による相談支援を実施するほか、「働き方改革フォーラム」の開催や「働き方改革」などに取り組む企業等に「働き方改革推進企業(仮称)」としての登録を促進し、優良事例を表彰します。	6,709	重点	雇用経済部
ワーク・ライフ・バランス推進サポート事業費	企業におけるワーク・ライフ・バランスの取組を促進するため、セミナーの開催や専門家派遣によるコンサルティングを行うほか、先進企業との意見交換を行う報告会などを開催します。	5,395	重点	雇用経済部

③次世代に継承する

細事業名	事業概要	事業費 (千円)	重点・一般 の別	担当部局
【次世代育成】				
高等教育機関連携推進事業費	伊勢志摩サミット開催により高まった郷土・三重に対する愛着・誇りをさらに発展させ、次代を担う学生に引き継ぐため、「高等教育コンソーシアムみえ」における「三重を知る」共同授業の開発等の取組を通じて、県内高等教育機関の魅力向上・充実を図ります。	4,250	重点	戦略企画部
大学生版サミット開催事業費	「大学生国際会議 in 三重」の成果を引き継ぎ、発展させるため、内外の学生が住民との交流や討議を通して地域を知り、グローバルな視点から地域の課題を考える大学生版サミットを開催します。	5,960	一般	戦略企画部
高等教育機関と地域との連携推進事業費	伊勢志摩サミット開催により高まった郷土・三重に対する愛着・誇りをさらに発展させ、次代を担う学生に引き継ぐため、地域活動に関心がある県内高等教育機関の学生と課題を抱える地域のさまざまな主体とのマッチング等に取り組むことにより、学生の地域への関心を高め県内定着につなげます。	4,050	一般	戦略企画部
情報や学習機会の提供事業費(一部)	G7諸国等出身の外国人住民による訪問事業を実施します。学校等が実施する授業等に外国人住民を派遣し、国際交流・異文化理解・多文化共生社会づくりについての講義やゲーム等を通して国際理解を深めます。	2,093	一般	環境生活部
世界へはばたく高校生育成支援事業費	高校生がグローバルな視野に立って自らの考えや意見を伝え、多様な人々と協働する力を育むため、県内外の高校生等が持続可能な社会づくりに向けてディスカッション等を行うみえ未来人育成塾や、英語キャンプ、海外研修等を実施するとともに、留学を促進します。また、科学分野の知識・技能を活用して課題を発見し、解決力を育むため、小中高生が探究的な活動を実践し、その成果を発表するみえ自然科学フォーラムを実施します。	32,381	重点	教育委員会事務局
明日へつなぐグローバルチャレンジ推進事業費	郷土に関する英語による補助教材を作成するとともに、英語キャンプ、イングリッシュデー、ワン・ペーパー・コンテストを開催することにより、語学力やコミュニケーション能力等に加え、郷土三重についての学習を深め、英語で積極的に発信できる力を育みます。	3,824	重点	教育委員会事務局
「挑戦・交流・進化」で紡ぐ職業教育推進事業費(一部)	国際的な感覚と広い視野を持ち、将来、果敢に何事にも挑戦し産業界で活躍できる人材を育成するため、職業学科の生徒を対象に、アジア圏にある県内企業の海外工場や欧米のレストラン等で実習等を行う海外インターンシップを実施します。	5,800	重点	教育委員会事務局
未来を拓く職業人育成事業費(一部)	高校生に地域の課題解決や活性化について主体的に参画する意欲や態度を育成するため、県内外の高校生が集い交流する高校生地域創造サミット(仮称)を開催します。	2,614	重点	教育委員会事務局

④戦略的・効果的な情報発信

細事業名	事業概要	事業費 (千円)	重点・一般 の別	担当部局
【戦略的プロモーション】				
広聴広報アクションプラン推進事業費	伊勢志摩サミット開催により県の認知度が高まったことをふまえ、首都圏メディア等を対象として、県の主要施策の取組が取り上げられるようPR強化を図ります。	10,979	重点	戦略企画部

	事業費 (千円)
平成29年度ポストサミット事業費計	11,462,807
(うち、公共事業)	10,727,262
(うち、非公共事業)	735,545

伊勢志摩サミット基金(案)の概要

【設置目的】 伊勢志摩サミットの成果を三重の未来に生かすための事業に要する経費の財源に充てるため、伊勢志摩サミット基金(案)を設置します。

【積立額】 102,622千円

平成29年度充当事業(充当額計 40,813千円)

対象とした事業	細事業名	事業概要(担当部局)	充当額
サミット開催地としての実績を生かし、国際化の観点から人を呼び込む等、『サミットの聖地』を具現化するための事業	海外MICE誘致促進事業費【一部】 海外誘客推進プロジェクト事業費【一部】 自然公園ナンヨナルパーク化促進事業費【一部】 熊野古道活用促進事業費【一部】	安定的に開催地域への大きな経済波及効果を生み出す国際会議等MICEの開催を促進するため、営業委託によりセールス体制を強化するとともに、誘致促進のための補助金などのツールを生かした誘致に取り組むことで、本県インバウンドの新たな市場として確立します。(雇用経済部観光局) ジュニアサミット開催の実績を最大限に活用しながら、県内地域や学校と連携し、商談会でのPRなどを通じて、台湾からの教育旅行の誘致に取り組みます。(雇用経済部観光局) 世界水準のナショナルパークをめざす伊勢志摩国立公園において、美しい自然景観等の魅力を国内外から訪れる利用者に十分体験・体感していただくよう、エコツーリズムの推進や地域資源の保全と活用を担う人材育成等に取り組めます。(農林水産部) 伊勢志摩サミット開催を契機として外国人旅行者の誘客を図るため、世界遺産熊野古道を核とした地域資源の魅力について、外国人目線での情報発信等に取り組めます。(地域連携部南部地域活性化局)	11,092 1,830 2,640 3,165
三重の未来を担う子どもや若者をグローバルカルな人材に育成する事業	大学生版サミット開催事業費 世界へはばたく高校生育成支援事業費【一部】 未来を拓く職業人育成事業費【一部】	「大学生国際会議 in 三重」の成果を引き継ぎ、発展させるため、内外の学生が住民との交流や討議を通して地域を知り、グローバルな視点から地域の課題を考える大学生版サミットを開催します。(戦略企画部) 高校生がグローバルな視野に立って自らの考えや意見を伝え、多様な人々と協働することができる力を育むため、県内外の高校生等が持続可能な社会づくりに向けてディスカッション等を行うみえ未来人材育成塾を実施します。(教育委員会事務局) 高校生に地域の課題解決や活性化について主体的に参画する意欲や態度を育成するため、県内外の高校生が集い交流する高校生地域創造サミット(仮称)を開催します。(教育委員会事務局)	5,960 706 2,614
サミット開催を記念し県が直接行う事業	情報や学習機会の提供事業費【一部】 未来につながる平和発信事業費 みえ国際ウィーク推進事業費	G7諸国等出身の外国人住民による訪問事業を実施します。学校等が実施する授業等に外国人住民を派遣し、国際交流・異文化理解・多文化共生社会づくりについての講義やゲーム等を通して国際理解を深めます。(環境生活部) 伊勢志摩サミットにおいて各国首脳から「平和のメッセージ」が発信されたことを契機として、三重から平和について発信していくとともに、未来を担う若い世代に、被爆地の若者との交流などを通じて、平和の尊さや大切さを考え平和への想いを一層深めてもらう機会として「平和のつどい(仮称)」を開催します。(戦略企画部) サミット開催による県民の貴重な経験を生かし、グローバルな人材育成等を図るため、「みえ国際ウィーク」を設け、県民・企業・団体・市町等と連携して、県民が継続的に世界に目を向ける機会とします。(雇用経済部)	2,093 1,478 3,806
食の産業振興のための事業	「みえの食」グローバル市場獲得推進事業費【一部】 「みえの食」振興基盤づくり推進事業費【一部】	三重県の食材や食文化に対する国内外からの注目や関心の高まり、インバウンド需要の拡大を踏まえ、「みえの食」のブランドイメージの向上やグローバルな市場の獲得に向けた取組を推進します。(雇用経済部) 県内食関連産業が求めている人材像の把握や教育機関の取組状況を調査するとともに、「みえの食」による産業振興の基盤ともいえる「食の人材」の育成について検討します。(雇用経済部)	4,438 991

平成29年3月1日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

伊勢志摩サミット三重県民会議平成28年度事業報告

前回役員会（1月19日開催）後に進捗等があった事業について、次のとおりご報告します。

1 伊勢志摩サミット記念館（仮称）について

（1）伊勢志摩サミット記念館（仮称）の整備

伊勢志摩サミット開催を記念し、サミットの概要や使用された調度品・県産材等の紹介を行うことなどにより、サミットのレガシー（資産）を次世代に引き継ぐ場として、伊勢志摩サミット記念館（仮称）（以下「記念館」という。）を賢島駅2階に設置します。オープンは、平成29年5月下旬の予定です。

詳細は、別紙1のとおりです。

（2）愛称の募集

記念館の正式名称（伊勢志摩サミット記念館（仮称））とは別に、愛称の募集を2月8日（水）から3月8日（水）まで（必着）行っています。審査の上、4月下旬に愛称を発表する予定です。

2 伊勢志摩サミット開催記念・三重の魅力再発見キャンペーン

サミットやジュニア・サミットの開催を機に再発見された三重の魅力ある食、文化、産業、観光スポットなどの観光資源を広くPRするとともに、サミット後の観光振興を図るため、伊勢神宮やミキモト真珠島など、サミットゆかりの地を巡る「ミステリーツアー」を12月から2月にかけて実施しました。合計で799名が参加し、参加者に対して、みえ食旅SNS写真キャンペーンやトリップアドバイザーなど、SNS等を通じた三重の情報発信を積極的に促しました。

また、旅のパンフレット等の媒体を活用し、サミットゆかりの三重の魅力ある観光資源の情報発信を行いました。

詳細は、別紙2のとおりです。

3 伊勢志摩サミット・アーカイブ事業

伊勢志摩サミットのレガシーを三重の未来に生かすため、サミットを契機として活躍されている県民の皆さんの取組の具体事例を収集、整理した上で、インタビュー撮影等を行い、取組事例や映像のアーカイブを作成しています。

作成したアーカイブについては、県ホームページへの掲載や、SNSにより情報発信するほか、他部局と情報を共有し、様々な分野・場面で活用することで、さらなる県民の皆さんの活躍につなげていきます。

【活躍事例の具体例】

- ・サミットに関わった方々（サミットで活用された県産品の生産者、サミットや関連事業の参加者、サミット協賛・応援事業者等）のサミット後の取組
- ・直接サミットに関わらなかった方々がサミットを契機に新たに始めた取組

伊勢志摩サミット記念館（仮称）について

1 設置目的

伊勢志摩サミット開催を記念し、サミットの概要や使用された調度品・県産材等の紹介を行うことなどにより、サミットのレガシー（資産）を次世代に引き継ぐ場として、伊勢志摩サミット記念館（仮称）（以下「記念館」という。）を設置します。

2 設置場所

賢島駅2階（約295.7㎡ 別紙1－2参照）

3 オープン時期

平成29年5月下旬（予定）

4 基本機能

伊勢志摩サミットの概要を写真、映像、現物等で展示するとともに、賢島を起点とした周遊観光のための情報発信機能や次世代を担う子どもたちの学びの場を創出する機能を有するものとします。

また、来訪者に飲食及び物販を記念館や記念館と一体的に整備する喫茶スペースで提供することにより駅及び記念館利用者の利便性を満たす空間を創出します。

5 記念館の整備及び運営

(1) 記念館の整備

記念館の設置に係る整備（賢島駅2階改修工事及び内装・展示設営等）は、伊勢志摩サミット三重県民会議（以下「県民会議」という。）が実施し、その費用は県民会議が負担します。

(2) 記念館の運営

記念館の運営は、志摩市が実施し、その費用は志摩市が負担します。

運営に当たっては、賢島駅2階の記念館設置箇所を近鉄（以下、近鉄グループホールディングス株式会社、近畿日本鉄道株式会社等、近鉄グループ企業について、いずれもすべて「近鉄」と表記。）から志摩市が借り受けて記念館を運営します。

記念館の休館日、開館時間及び入館料については、以下①～③のとおり準備を進めており、志摩市の「伊勢志摩サミット記念館の設置及び管理に関する条例」案の成立を以って正式に決定する予定です。

①休館日

原則年中無休

②開館時間

午前9時から午後5時まで

③入館料

無料

6 記念館の概要（案）

（1）展示内容

サミット当日の雰囲気を感じていただくため、サミットで実際に使用した円卓や贈呈品等を展示するとともに、国際メディアセンターアネックスで使用された部材（檜柱、木製簾、木製黒壁）を記念館において使用します。

また、リピーターの確保を図るため、企画展示も行います。

（展示例）

- ①誘致活動に関する写真パネル展示
- ②誘致決定時の写真パネル展示
- ③首脳等身大記念写真等パネル展示
- ④首脳会議用円卓・椅子の実物展示
- ⑤公式記録の展示（写真パネル、動画）
- ⑥観光情報の発信
- ⑦首脳等への贈呈品等の実物展示
（カップ&ソーサー、文箱&真珠付ボールペン、コアウツドの置時計等）
- ⑧サミットで使用された食材等の写真パネル展示
- ⑨県民によるおもてなしの様子写真パネル展示

（2）体験型展示の充実

子どもたちにとって記念館が学習機会の場として魅力的なものとなるように、例えば、首脳会議用円卓・椅子に触れていただきサミットの雰囲気を体感していただくなど、体験型要素を取り入れた展示の充実を図ります。

（3）飲食・物販

県民会議、近鉄、志摩市の三者間でその具体的な運営方法等について調整中です（飲食については近鉄に担っていただくこととしています）。

7 設置期間

日本における次期サミットの開催年まで設置することとし、その後の対応については当該設置期間の終了までの間に、県民会議、近鉄、志摩市の三者間で利用状況等を勘案し決定することとします。

8 今後のスケジュール（予定）

- ・ 3月下旬：内装・展示案検討終了、賢島駅2階改修工事完了
- ・ 4月上旬：内装・展示設営着手
- ・ 5月下旬：内装・展示設営完了、記念館オープン

伊勢志摩サミット開催記念・三重の魅力再発見キャンペーン

1 目的

サミットやジュニア・サミットの開催を機に再発見された三重の魅力ある食、文化、産業、観光スポットなどの観光資源を広くPRするとともに、企画ツアーなどを通じた具体的な集客により三重の魅力を体験・体感し、積極的に発信してくれるファンづくりを行うことで、サミット後の観光振興を図ります。

2 実施方法

企画提案コンペを実施し、「株式会社JTB中部津支店」へ業務を委託
(契約期間) 平成29年2月28日まで

3 実施内容

(1) 情報発信

JTBグループ発行の旅のフリーペーパー「感動十景」に、横山展望台や乾杯用酒盃で活用された四日市萬古焼など、サミットに関連する三重の観光資源の魅力を紹介するための記事を掲載しました。中部エリアの鉄道駅や道の駅などで7万部を配布し、またWEBサイトにおいて掲載するなど、三重の魅力について広く情報発信を行いました。

(紹介内容)

- ・横山展望台 ・相差かまど ・ミキモト真珠島 ・伊勢神宮
- ・四日市公害と環境未来館 ・四日市夜景クルーズ ・四日市萬古焼
- ・伊賀くみひも ・松阪もめん手織りセンター ・三重県立熊野古道センター
- ・美し国の旬な食 (日本酒、あのにふぐ、浦村かき)

(2) 企画ツアー

伊勢神宮やミキモト真珠島などのサミットゆかりの地を名古屋や大阪から1泊2日で巡る「ミステリーツアー」を企画し、JTBの旅行商品「旅物語」や中日新聞などで募集を行い、12月から2月にかけて合計799名の参加がありました。

また、JTBの旅行商品「旅物語」において、サミット開催に協力いただいた宿泊施設の紹介を行いました。

(ミステリーツアーでの訪問先)

- ・伊勢神宮 (内宮) ・せんぐう館 ・神明神社 (石神さん)
- ・横山展望台 ・志摩観光ホテル ザ クラシック (庭園)
- ・ミキモト真珠島 ・松阪農業公園ベルファーム

(3) 参加者への対応

「ミステリーツアー」の参加者に対し、「みえ食旅パスポート」を配布するとともに、みえ食旅SNS写真キャンペーンやトリップアドバイザーなどSNS等を通じた三重の情報発信を促しました。

(参加者からの主な意見や感想等)

- ・ 普段の旅行では行けないところ、マイナーなところにも行けてよかった。
- ・ 各所で案内人からの説明がありよかった。
- ・ サミット関係の会場や横山展望台、ミキモト真珠島は、内容充実でよかった。
- ・ みえ食旅パスポートはとてもよかった。
- ・ ミキモト真珠島でもう少し時間が欲しかった。

平成29年3月1日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

伊勢志摩サミット三重県民会議平成29年度事業計画（案）について

1 伊勢志摩サミット記念館（仮称）について

（1）伊勢志摩サミット記念館（仮称）のオープンに向けた整備

平成29年5月下旬のオープンに向け、伊勢志摩サミット記念館（仮称）（以下「記念館」という。）の整備を進めます。

（2）階段昇降機の設置について

記念館へのエレベータの設置について、伊勢志摩サミット三重県民会議、近鉄（近鉄グループホールディングス株式会社、近畿日本鉄道株式会社）、志摩市の三者間で検討を行ってきましたが、設置には賢島駅の大規模改修工事が必要であること等から、階段昇降機（車椅子ごと階段昇降可能なタイプ）を設置することとします。

記念館オープン後、年内に設置するよう対応を図ります。

（3）内覧会、オープン時の式典の実施

記念館のオープン時には、式典を実施する予定です。また、オープン前には、関係者への内覧会を実施する予定としています。

（4）開館に向けた周知及び開館後の周知

記念館の開館に向けて、ポスター作成・掲示やチラシの配布等により周知を図るとともに、開館後においても、キャンペーン等の実施により記念館の周知を図っていきます。

（5）開館後の企画展示の実施

記念館内で企画展示を行うことにより、リピーターの確保につなげます。

2 「神宮スギ」の定植について

サミットにおいて、G7首脳が植樹した「神宮スギ」を広く県民の方々に見ていただける場所に定植します。

資料4

平成29年3月1日

伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

県民会議収支予算(案)について

収入

(単位:千円)

科目	項目	主な内容	H27決算	H28 決算見込	H29予算	合計
負担金	県負担金		139,000	120,043		259,043
		寄附金分	487,509	38,146		525,655
	市町負担金	志摩市、伊勢市、鳥羽市、南伊勢町	13,000	13,000		26,000
諸収入	雑入	ポスター協賛金等	1,555	698		2,253
繰越金	繰越金	前年度からの繰越金		(429,439)	(238,736)	
合計			641,064	171,887	(238,736)	812,951

支出

(単位:千円)

科目	項目	主な内容	H27決算	H28 決算見込	H29予算	合計
事業費	開催支援	各国首脳等の歓迎・交流 インフォメーション機能の整備 報道関係者等の歓迎・支援				
		計	27,713	52,862	0	80,575
	おもてなし	サミットフォーラムの開催 クリーンアップ作戦・花いっぱい作戦				
		計	44,098	33,786	0	77,884
明日へつなぐ	ジュニア・サミット参加者との交流等 サミット協力宿泊施設経営向上支援補助金、三重の魅力再発見キャンペーン 記録誌作成等 伊勢志摩サミット記念館(仮称)の整備等(100,000千円) 伊勢志摩サミット基金への拠出金(102,622千円) 「神宮スギ」の定植(3,400千円) 記念館にかかる広報(3,393千円) 記念館にかかるオープニングセレモニー(800千円)					
計	9,360	97,889	210,215	317,464		
三重の発信	三重情報館の設置 海外プレスツアー、プロモーション 県内・県外イベントでのPR、ポスター等によるPR 動画CMの放映					
		計	112,246	117,113	0	229,359
事務局費	県民会議開催費	総会、役員会、部会の開催	1,374	1,089	514	2,977
	事務局運営費	一般事務費、施設関係経費、PR調査委託等	16,834	59,851	15,600	92,285
	予備費				12,407	12,407
	計	18,208	60,940	28,521	107,669	
合計			211,625	362,590	238,736	812,951

伊勢志摩サミット記念館(仮称)の

5月下旬に
OPEN予定!

愛称

(ニックネーム)を募集します!

奮ってご応募ください!

伊勢志摩サミット記念館(仮称)を賢島駅2階に設置します(約295㎡)。

「和(和風)」を基本イメージとし

- ・サミットの概要と使用された調度品、県産材の紹介等
- ・次代を担う子どもたちの学びの場として活用
- ・県内の観光情報を発信

することとしており、県民・利用者の皆さんに伊勢志摩サミットを身近に感じていただけるような記念館をめざしています。



志摩観光ホテル ザ クラシック
ペア宿泊券(夕朝二食付)
プレゼント

さらに全応募者の中から
三重県産品の詰め合わせ(※)と
伊勢志摩WAON2016を
30名様にプレゼント!

募集期間

平成29年2月8日(水)から平成29年3月8日(水)まで(必着)

応募方法

①応募する作品、②コメント(作品の簡単な説明)、③応募者の名前及びふりがな、④年齢、⑤住所、⑥電話番号(携帯電話可)を明記して、郵便はがき、FAX又は電子メールでご応募ください。

- (1) 郵便はがき 〒514-8570 三重県津市広明町13番地 伊勢志摩サミット三重県民会議事務局へ郵送
- (2) FAX 059-224-2075までFAX
- (3) 電子メール summit@pref.mie.jpへメール

【注意事項】

- 応募に必要な資格はありません。(県内外どなたでも応募可能です。)
 - 応募いただいたものの中から厳正な審査のうえ、受賞者を決定します。平成29年4月中旬頃までに受賞者に直接連絡し、4月下旬頃に発表を行います。その際に、受賞作品、氏名、住所(市町まで)を公開します。
 - お一人何点でも応募できますが、それぞれ異なる作品に限ります。また、応募1件につき1作品とします。
 - 応募作品は、他の作品と類似しないもので、自作かつ未発表のものに限ります。
 - 受賞作品が複数の応募者から応募されたものである場合には、抽選により1名決定することとし、その他の応募者には三重県産品の詰め合わせ(※)等を差し上げます。
 - 著作権等、応募した名称に関する一切の権利は、伊勢志摩サミット三重県民会議に帰属します。
 - 応募者の個人情報、この募集に関する業務のみで使用することとし、三重県個人情報保護条例に沿って適切に管理します。
 - その他詳細については「伊勢志摩サミット記念館(仮称)愛称募集要項」(ホームページに掲載)をご確認ください。
- (※伊勢木綿てぬぐい、伊勢型紙、おり、伊賀くみひもの根付け等)



問い合わせ先: 伊勢志摩サミット三重県民会議事務局 三重県津市広明町13番地
電話 059-224-2646 電子メール summit@pref.mie.jp
ホームページ: <http://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0030500040.htm>

